

教育研究業績書

2016年10月01日

所属：健康・スポーツ学科

資格：講師

氏名：村越 直子

研究分野	研究内容のキーワード
ダンス 臨床教育学	グラハム・テクニク コンテンポラリー・ダンス Somatic Education ミツヴァ・テクニク
学位	最終学歴
臨床教育学修士	武庫川女子大学大学院臨床教育学専攻修了

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		
1. バレエ講習会	2013年7月17日2013年8月5日	海外のバレエ団（英国ロイヤル・バーミンガム・バレエ、米国グランド・ラビッド・バレエ）で活躍する日本人ダンサーによるバレエ講習会をゼミ生と企画した。ミニ・コンサートと座談会を設けダンサーという専門職についての学びを深めた。
2. 海外のスポーツ	2013年3月	トロントでヨーク大学・ライヤソン大学の2大学のダンス学科と交流。 日加の学生がそれぞれに創作ダンス作品の講評をし合った。本学学生が現地大学院の授業も含めカナダの学生に混じって受講した。ゼミ生が卒論の為のインタビューやアンケート調査を行った。ダンス甲東園2013のワークショップを受講した学生が、そこでトロントから来日していた振付家の作品をトロントのキャストと共に公演出演した。
3. 田植えとダンス	2012年5月3日	京丹波で自給自足をしながら音楽活動が続けるピアニスト、ザイラー夫妻の田植えにゼミで協力。世界が注目するダンスの流派「舞踏」の特色とされる日本人固有身体を田植え動作で確認した。作業の最後には豊作を願い、参加者を率いて、田んぼのあぜ道をねり踊った。また田植えの後の交流でダンスを披露。民衆の踊りの発祥や社会性に関して興味を持たせた。外国人が多く参加していることから、共通の話題による会話を通して、英語に親しみを持たせるようにした。
4. 西宮大学交流センター・オリジナル科目	2011年から現在	大学交流センターのオリジナル科目をコーディネーターとして受け持っている。 地域のアーティストによる専門的なダンスの実践を、他大学生と学び合うことができる。
5. グループワークでダンス作品の創作	2010年4月～現在	クラスの仲間と意見を出し合い小作品を創作。 お互いの作品を発表し、感想を交換する。 自分の持ち味、他人の持ち味を知ることが授業を通して学びあう。
6. にしのみや野外アートフェスティバル	2011年から2013年	毎年西宮市役所前で行われる「野外アートフェスティバルinにしのみや」にゼミ生で踊りを創作し、参加出演。 地域の芸術振興活動に積極的な関わりを持たせ、ダンスの可能性を考察した。
2 作成した教科書、教材		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
4 その他		

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
1 資格、免許		
1. Mitzvah Technique 認定教師	2008年05月	カナダでネヘミア・コーヘン氏によって開発された姿勢法：ミツヴァテクニクの指導資格
2 特許等		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
4 その他		

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1 著書				

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要
1 著書				
2 学位論文				
3 学術論文				
1. 姿勢の感覚と自己の育ち —ソマティック・エデュケーションの紹介とその意味の検討	単	2014年11月	臨床教育学研究科開設20周年 記念論文集 pp.173-191	「からだの使い方の吟味」によって主体的な学びの道筋を示すソマティック・エデュケーションの系譜とその主たる概念をまとめた。その上でその実践者の語りから自己の育ちを軸とした技法の本質的な意味の検討を試みた。
その他				
1. 学会ゲストスピーカー				
2. 学会発表				
1. 姿勢の感覚と自己の育ちをめぐる一考察 —日本におけるミツヴァ・テクニクの実践から—	単	2014年9月27日	日本臨床教育学会	日本におけるミツヴァ・テクニクを実践者たちの語りから、ミツヴァ・テクニクがダンスへ及ぼした影響が、からだの内部の「葛藤」として表れた現在バレエ教師のAさんと、ミツヴァ・テクニクが意味する「からだの再教育」が具体的に表現されていたBさんの語りを紹介し、この2つの語りから、ミツヴァ・テクニクの持つ特質と、そこで培われる姿勢の感覚と自己の育ちという側面で考察を付け加えた。
2. オハッド・ナハリンが開発したGagaがダンスとダンス教育に問いかけるもの—テルアビブでの聴き取りに基づいて—	単	2014年11月29日	舞踊学会	バットシェバ舞踊団芸術監督オハッド・ナハリンが開発した動きのメソッドGagaは、今日世界中のダンサー、ダンス教師に注目されている。2013年に行ったナハリンからの聴き取りより、Gagaの基軸となる考え方について考察を行った。
3. 総説				
1. 北米で始まったソマティクス研究—それが臨床教育学に示唆するもの—	単	2016年03月31日	臨床教育学研究 第4巻 p. p. 146 - 153	アメリカ哲学者であるトーマス・ハナが唱えたソマティクスという研究領域について、北米におけるその後の研究動向をまとめ、臨床教育学との関わりを考察した。
2. コンテンポラリー・ダンス。きらめく身体。—元バットシェバ舞踊団ダンサー、シャハー・ビンヤミニの講演から—	単	2015年11月16日	武庫川女子大学 生活美学研究紀要 第25号 p. p. 7-17	2014年9月に行われた生活美学研究所主催のシャハー・ビンヤミニの講演会を基に、イスラエルで開発された動きの技法である「Gaga」の説明と、生活美学研究所2015年度の研究テーマに沿って、「きらめく身体」についての論考をまとめた。
4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
1. 「Checkmate」	共	2016年03月26日	全国舞踊コンクール	指導した作品「Checkmate」が全国舞踊コンクール群舞の部で入賞1位を受賞した。
2. レ・ミゼラブル		2016年03月24日	兵庫県立芸術文化センター中ホール	ヴォイスアーツ主催の演奏会形式「レ・ミゼラブル」公演の振付を担当した。
3. Four Horsemen Project		2015年6月22日	2015 Dora Mavor Moore Award (Canada)	2015 Dora Mavor Moore Award, General Theatre 部門においてOutstanding Sound Design/Composition 賞にノミネートされ、キャストとして受賞。
4. Four Horsemen Project		2015年6月	2015 Dora Mavor Moore Award (Canada)	2015 Dora Mavor Moore Award, General Theatre Division部門において Outstanding Performance -Ensemble賞にノミネートされた。
5. 「きこえていますか ～Voices from Hades～」		2015年11月06日08日	10th Anniversary REVE RBdance Festival, Baruch Performing Arts Center, New York, USA	指導した作品「きこえていますか ～Voices from Hades～」(武庫川女子大学ダンス部)がREVERBdance フェスティバルに招聘を受け、参加した。
6. 「枯れるために咲く」		2015年09月12日	第18回少人数による創作ダンスコンクール ARTISTIC MOVEMENT IN T OYAMA 2015	指導した作品「枯れるために咲く」[武庫川女子大学ダンス部)が特別賞を受賞した。
7. くるみ割り人形		2015年03月07日8日	宮っこ親子コンサート 西宮市フレンテホール 甲子園会館音楽会 武庫川女子大学甲子園会館	音楽学部応用音楽学科による、コンサート形式の「くるみ割り人形」第2幕のダンス振付を担当した。
8. 胡桃の音		2014年9月14日	第17回少人数による創作ダンスコンクール ARTISTIC MOVEMENT IN T OYAMA 2014	指導した作品「胡桃の音」[武庫川女子大学ダンス部)が特別賞を受賞した。
9. Four Horsemen Project		2014年11月6日～11月22日		Toronto の劇団Volcano の作品にダンス・パフォーマーとして出演した。 会場：Young Centre for the Performing Arts, トロント (カナダ) 演出：ロス・マンソン 振付：ケイト・アルトン

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要
4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
10. Four Horsemen Project	共	2014年10月28日~11月2日		Toronto の劇団Volcano の作品にダンス・パフォーマーとして出演した。 会場：East Cultural Centre、バンクーバー（カナダ） 演出：ロス・マンソン 振付：ケイト・アルトン
11. 第22回野外アートフェスティバル in にしのみや~きずな~		2013年10月7日		野外コンサート「ダンス・モザイク」を監修。 会場：西宮市役所前六湛寺公園
12. 第12回西宮大学交流祭 キャンドルナイト		2012年12月16日		西宮北口ACTA2階の円形デッキにて行われた大学交流祭「キャンドルナイト」の制作コーディネーターを務めた。
13. 船坂アートビエンナーレ		2012年11月		野外パフォーマンス及びダンス・パフォーマンスのコーディネーターを務めた。
14. 第21回野外アートフェスティバル in にしのみや~きぼう~		2012年10月8日		大学生を中心にしたダンスパフォーマンス「ダンス・モザイク」を監修。 会場：西宮市役所前六湛寺公園。
15. ダンス甲東園		2011年12月		ナチュラルダンスアトルの舞台と、実践に大学生ダンサー達を交えた企画をコーディネート。
16. 神戸女学院大学音楽学部舞踊専攻第3回卒業公演		2011年10月		①ダンス公演、②ダンス指導法ワークショップ、③高齢者施設へのアウトリーチを実施。
17. 第20回野外アートフェスティバル in にしのみや~つなぐ~		2011年10月		神戸女学院大学舞踊専攻第3期生に「未来への雫。」を振付し、発表した。
18. Dai Don Den 3		2011年03月		ミニ・コンサート「ダンス・モザイク」の監修をした。 会場：西宮市役所前六湛寺公園
19. Older and Reckless		2011年03月		「nothing- weight -light」3月18日~21日 会場：Winchestrre Street Theatre, トロント（カナダ） 音楽：Sarah Shugarman 照明：Ron Snippe
20. 神戸女学院大学音楽学部舞踊専攻第1回卒業公演		2011年03月		「無題」 自作自演ソロを3月12日から14日まで公演発表。 会場：Dancemakers Studio, トロント（カナダ） 音楽：Sarah Shugarman 照明：Ron Snippe
21. 神戸女学院大学音楽学部舞踊専攻第1回卒業公演		2009年12月		神戸女学院大学音楽学部舞踊専攻第1回卒業公演に、「空（ ）Magical Unicorns」を振付した。
22. Four Horsemen Project		2009年07月		Toronto の劇団Volcano の作品にダンス・パフォーマーとして出演。 会場：Kesselhaus, ベルリン（ドイツ） 演出：ロス・マンソン 振付：ケイト・アルトン
23. 神戸女学院大学音楽学部第2回公演		2009年02月		神戸女学院大学音楽学部舞踊専攻の為に、振付創作作品「10」を振付し発表した。
24. Four Horsemen Project		2008年09月		Toronto を拠点にする劇団Volcano の作品にダンスアーティストとして出演。会場：Project 2, ダブリン（アイルランド） 演出：ロス・マンソン 振付：ケイト・アルトン
25. Four Horsemen Project		2008年06月		Toronto を拠点にする劇団Volcano の作品にダンスアーティストとして出演。会場：Firehall Theatre, ガナノクエ（カナダ） 演出：ロス・マンソン 振付：ケイト・アルトン
26. 洋舞スプリングコンサート		2008年03月		「La Loba」を振付。ダンサー：文山絵真 音楽：Sarah Shugarman 会場：神戸オリエンタル劇場
27. PuSh international Festival		2008年01月		劇団Volcano作品「Four Horsemen Project」のパフォーマーとして、バンクーバーで毎年行われる国際演劇フェスティバルに参加、出演。 会場：Push Festival, バンクーバー（カナダ） 演出：ロス・マンソン 振付：ケイト・アルトン
28. Four Horsemen Project		2008年01月		トロントの劇団Volcanoの作品にダンス・パフォーマーとして出演。 会場：Metro Centre, ビクトリア（カナダ） 演出：ロス・マンソン 振付：ケイト・アルトン
29. Four Horsemen Project		2007年03月		Toronto を拠点にする劇団Volcano の作品にダンスアーティストとして出演。会場：Great Canadian Theatre Company, オタワ（カナダ） 演出：ロス・マンソン 振付：ケイト・アルトン
30. Four Horsemen Project		2007年02月		Toronto を拠点にする劇団Volcano の作品にダンスアーティストとして出演。会場：Theatre Centre, トロント（カナダ） 演出：ロス・マンソン 振付：ケイト・アルトン
31. 神戸女学院大学音楽学部舞踊専攻第1回公演		2007年02月		マーサ・グラハムの技法をもとに、基本エクササイズのパフォーマンスを構成・振付。音楽：Sarah Shugarman

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要	
5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等					
1. 素の美 ー日本人の美意識ー	単	2015年11月21日	生活美学研究所 平成27年度秋季シンポジウム	生活美学研究所 秋季シンポジウム「素の美ー日本人の美意識ー」の総合司会を務めた。	
2. コンテンポラリー・ダンス。きらめく身体。シャハー・ビンヤミニ氏を招いて		2014年9月20日	生活美学研究所2014年度第2回定例研究会	生活美学研究所定例研究会にイスラエルの元バットシェバ舞踊団団員であり、Gaga教師であるShahar Binyamini氏を招いて講演会を開催した。また、討論会の司会を務めた。	
3. 身体、舞踊、トランスーバリ島、里の祭祀を考えるー 石井達朗氏による講演会		2014年3月1日	生活美学研究所2013年度第6回定例研究会	生活美学研究所定例研究会に舞踊批評家、慶応義塾大学名誉教授である石井達朗氏を招いて講演会を開催した。また、討論会の司会を務めた。	
4. 国際交流基金トロント日本文化センターにおいて、「Introduction to Japanese Contemporary Dance and Dancers」の講演		2011年3月8日			
5. シンポジウム「ダンス×地域×大学より ダンス甲東園を目指して」(財)地域創造助成企画 公共ホール現代ダンス活性化事業にパネラーとして参加。		2010年			
6. 日本ミツヴァ・テクニク講習会 講師		2007年			
6. 研究費の取得状況					

学会及び社会における活動等

年月日	事項
1. 2016年02月20日	第15回兵庫県高等学校春季ダンスコンテスト 審査員
2. 2015年8月25日	平成27年度 兵庫県高等学校体育連盟ダンス部 選手強化育成事業・実技講習会 講師
3. 2015年12月	第67回舞踊学会大会 実行委員
4. 2014年4月～現在	日本女子体育連盟 特別会員
5. 2014年04月から現在	International Association for Dance Medicine and Science
6. 2013年8月8日2013年11月29日	兵庫県教育委員会 平成25年度中学校教員武道・ダンス指導力向上事業「学習指導要領に対応したダンス学習の指導法」講師
7. 2012年4月～現在	日本臨床教育学会
8. 2012年から現在	日本舞踊学会
9. 1992年から現在	Dancer Transition Resource Centre